

# しゅうれんかい (修練会) Q&A

公益財団法人豊島修練会 2016年1月7日号 (通算第3号)

## 子どもとの Q&A (ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです!)

**Q** : 先生から「ノートをきちんと書きなさい」と、よく注意されます。ノートはどのように書いたらいいですか? (小学校4年)



**A** : 「きれいに書くこと」にこだわりすぎず、次のことに気を付けるとよいと思います。

①日付、②何をするか、その時間の「問題または課題」を書きます。③どのようにしたら解決できるか見通し(予想)を書きます。④自分の考えで問題を解決したり、調べたりして、それをノートに書きます。⑤次に、わかったことや答えを書きます。⑥できれば、それでよいわけ(理由)を書いておくようにします。⑥友達の発表を聞いたり、話し合ったりして、わかったことは付け足します。間違いも直しましょう。

学校の先生の「ノートの書き方」をよく聞いて、続けていくと、だんだん上手になっていきます。

## 大人との Q&A (パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を!)

**Q** : 授業参観に行ったとき、そのあとで、アンケート調査があります。どのように答えたらよいのか迷います。回答のときに気をつけることがあったら、具体的にお願いします。

**A** : 授業参観では、子どもの様子をじっくり見てあげてください。そのとき、大切なことは、「よいところ、努力していること、進歩した(よくなった)ところ」などをよく見てあげることです。それらが見つかったら、それは日頃の先生の指導のおかげです。そのことを念頭にき、日頃のご指導に感謝しつつ、アンケートに答えるとよいと思います。改善すべきことが感じられるときは、遠慮なく、表現に気を付けて率直に回答するとよいと思います。



## 学校の先生がたの Q&A (先生にもわからないことがある!)

**Q** : 先輩教師から「授業中にもっと子供に支援したほうがいいね」と助言されました。どのようにしたらよいでしょうか?

**A** : よく「授業中の評価と支援」ということが言われます。この場合の評価とは、「ABCや321」などをつけることではなく、学習課題に対する子どもの「学習状況や反応」を捉え、次のような指導・支援をきめ細かくすることです。

? : 課題に取り掛かれない子を見つけて、個別指導をする。

▲ : 一生懸命取り組んでいるが混乱している子には、進め方を含めて個別指導をする。

△ : つまづいている子には、つまづきに気付かせ、修正させる(または個別指導をする)。

○ : 自分でなんとかできた子には、どのように考えたか、なぜそれでよいか考えさせる。できたがもっと良い考え方をさせたいときは、それを褒めた上で、別の方法を考えさせる。

